

2026 年 10 月 13 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

製造業向け AI スマートファクトリーソリューションを提供開始
工場設備のデータ収集・分析から生産計画や経営判断への活用までを支援

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、製造業向けに「AI スマートファクトリーソリューション」の提供を開始します。本ソリューションは、現場で収集したデータの分析から AI エージェントによる運用支援、本社システムとの連携までを実現するサービスです。工場設備からデータを収集・分析すると共に、設備を制御・監視するシステム(OT: Operational Technology)と本社の基幹業務システム(ERP:Enterprise Resource Planning)をつなぎ、現場から得たデータを生産計画や経営判断に活用できる環境を構築します。工場の DX を推進する国内の製造業向けに展開します。

製造業では、人手不足への対応や生産性の向上に向けて、工場設備から得られるデータを業務改善に生かす取り組みが進んでいます。一方、多くの工場では、熟練者が持つ知見への依存に加え、異なるメーカーの設備やシステムが混在していることから、データ形式や管理方法が統一されず、工場全体の稼働状況を横断的に把握することが難しいという課題があります。また、工場の OT システムと本社の ERP が十分に連携しておらず、現場のデータを生産計画や経営判断に活用できないケースも少なくありません。

AI スマートファクトリーソリューションは、設備やシステムごとに分散しているデータを収集・統合し、一元的な管理と活用を実現します。また、異なるメーカーの機器やシステムが混在する環境でも、既存設備を生かしながらデータ連携を支援し、工場の OT システムと本社の ERP をつなぐデータ活用基盤を提供します。

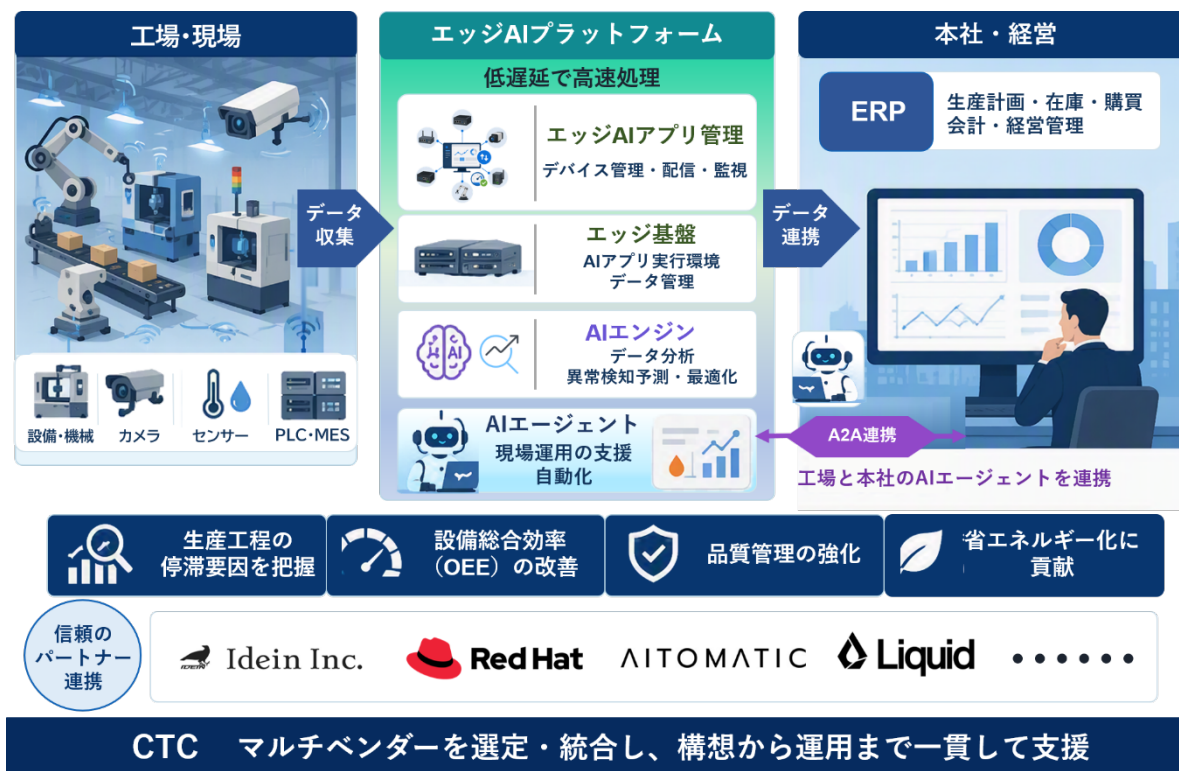
お客様の環境や課題に応じて、エッジコンピューティング基盤や AI 技術など複数の製品や技術を選定・統合し、段階的に導入します。工場の設備やカメラ、センサーから収集したデータを工場内で処理することで、クラウドとの通信遅延を抑え、設備の稼働状況や生産状況を迅速に分析し、故障の予兆検知などに活用します。

さらに、AI エージェントが分析結果に基づく問い合わせ対応や異常時の通知、保全業務の手配などを支援します。加えて、工場の製造実行システム(MES)と本社の ERP を連携し、現場データを生産計画や経営判断に活用できる環境を整えます。

CTC は、製造分野向けシステムの構築や AI 導入で培った実績を生かし、製造業界が目指す工場環境のオープン化・標準化に取り組み、お客様の設備や課題に応じた最適なシステム環境を構築します。構想策定から実証実験、システムの設計・構築、運用までを一貫して支援します。

今後も CTC は、お客様の工場での実証を通じて、異常検知や予防保全のための AI モデルの精度向上を進めます。また、シミュレーションによる検証も交えながら、工場と本社の AI エージェントを連携し、新たな業務支援機能の開発に取り組みます。

<AI スマートファクトリーソリューション イメージ>



▼AI スマートファクトリーソリューション紹介ページ

<https://www.ctc-g.co.jp/keys/product/ai-smart-factory-solution>

- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp